

InfoSphere Optim Performance Manager for DB2 for Linux, UNIX, and Windows



バージョン 5.3.1

クイック・スタート・ガイド

このガイドでは、本製品を素早く簡単にインストールする方法について説明します。

各国語バージョン: 他の言語の「クイック・スタート・ガイド」を入手するには、インストール・メディアにあるその言語固有の PDF を印刷してください。

製品概要

IBM® InfoSphere® Optim™ Performance Manager for DB2® for Linux, UNIX, and Windows は、データベース管理者 (DBA) が業績評価指標をモニターし、DB2 データベースでのパフォーマンス上の問題を識別して解決するために使用するツールです。

1 ステップ 1: ソフトウェアおよび資料にアクセスする



製品をダウンロードする場合は、次の URL にある説明に従ってください。

[http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9PE5_5.3.1/
com.ibm.datatools.perfmgmt.installconfig.doc/pm_download_images.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9PE5_5.3.1/com.ibm.datatools.perfmgmt.installconfig.doc/pm_download_images.html)

必要なファイルをすべてダウンロードしたら、オンライン資料にある指示に従ってファイルをコンピューター上の一時ディレクトリーに解凍します。

この製品オファリングには、以下のコンポーネントが含まれます。

- InfoSphere Optim Performance Manager サーバー・ソフトウェア
- InfoSphere Optim Performance Manager ライセンス・アクティベーション・キット
- InfoSphere Optim Performance Manager でデータ・リポジトリーとして使用できる DB2 for Linux, UNIX, and Windows の限定使用コピー
- オプションの DB2 Performance Expert (PE) レガシー・クライアント・ソフトウェア

2 ステップ 2: ハードウェアおよびシステム構成を評価する

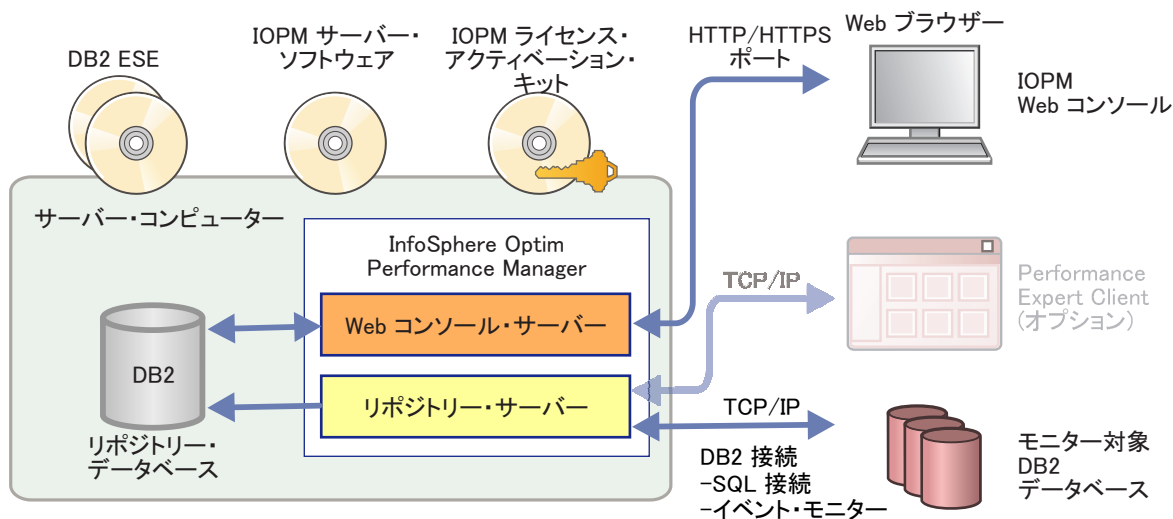


データベースをモニターする場合は、慎重にリソースを計画する必要があります。製品をインストールまたは更新する前に、オンライン資料で計画に関する以下の情報を確認します。

[http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9PE5_5.3.1/
com.ibm.datatools.perfmgmt.installconfig.doc/pm_preparing_install.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9PE5_5.3.1/com.ibm.datatools.perfmgmt.installconfig.doc/pm_preparing_install.html)

3 ステップ 3: インストール・アーキテクチャーを確認する

次の図は、製品アーキテクチャーを示しており、インストールを計画する場合の基礎になります。



いくつかの代替アーキテクチャーについては、次の URL を参照してください。

http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9PE5_5.3.1/com.ibm.datatools.perfmgmt.installconfig.doc/architectures.html

4 ステップ 4: オプション: インストール・プランナーを使用して必要な情報をすべて収集する

インストールまたは更新を開始する前に、InfoSphere Optim Performance Manager インストール・プランナーを使用して、インストールおよび構成の途中で入力が必要となる情報を収集します。このプランナーは、クイック・スタート・ガイド CD またはオンライン資料から入手できます。

http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9PE5_5.3.1/com.ibm.datatools.perfmgmt.installconfig.doc/install_planner.html

5 ステップ 5: DB2 リポジトリ・データベースのインスタンスをインストールまたは準備する



InfoSphere Optim Performance Manager には、リポジトリ・データベースとして使用する DB2 のサポート対象バージョンが必要です。サポート対象バージョンの DB2 がまだインストールされていない場合は、InfoSphere Optim Performance Manager に付属する限定使用ライセンスの IBM DB2 Enterprise Server Edition (DB2 ESE) をインストールして使用することができます。

IBM DB2 Storage Optimization Feature のライセンスを所有していて、この機能を InfoSphere Optim Performance Manager と共に使用する権利がある場合は、InfoSphere Optim Performance Manager をインストールする前に IBM DB2 Storage Optimization Feature ライセンスを DB2 インストール済み環境に適用します。

リポジトリ・データベースに対して既存の DB2 インスタンスを使用する場合は、InfoSphere Optim Performance Manager サーバー・インストールを開始する前に、そのインスタンスが実行されていることを確認します。システム要件を調べて、サポートされている DB2 のバージョンを確認してください。

6 ステップ 6: DB2 インスタンスの管理ユーザーまたはグループを作成する



初めて Web コンソールにログオンする際に使用する管理ユーザーまたはグループを作成します。このユーザーには、リポジトリ・データベース用の DB2 インスタンスに対する SYSADM 権限が必要です。このユーザー・アカウントには、インストール中に DBADM 権限が付与されます。

ユーザー認証については、次の URL を参照してください。

http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9PE5_5.3.1/com.ibm.datatools.perfmgmt.installconfig.doc/understanding_user_access_auth_methods.html

7 ステップ 7: InfoSphere Optim Performance Manager サーバー・ソフトウェアをインストールまたは更新する



新規インストールを開始する前に、ライセンス・ファイルを解凍しておきます。ステップ 1 を参照してください。更新インストールを実行している場合、ライセンスを再適用する必要はありません。

IOPM.server.version.install-on-operatingsystem ファイルを実行して、選択したプラットフォーム用の InfoSphere Optim Performance Manager V5.3.1 サーバー・ソフトウェアをインストールまたは更新します。コマンドに `-i console` を付加すれば、インストール・プログラムをコンソール・モードで実行できます。

例: IOPM.server.v5.3.1.0.install-on-win64.exe

サイレント・インストールの実行方法に関する情報も含め、このステップについては、次の URL を参照してください。

http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9PE5_5.3.1/com.ibm.datatools.perfmgmt.installconfig.doc/pm_install_modes.html

8 ステップ 8: InfoSphere Optim Performance Manager を構成し、システムをモニター用にセットアップする



インストール・プログラムの実行後に、いくつかの追加作業を実行し、モニター用に環境を構成してシステムをセットアップする必要があります。

以下の作業により、環境の構成とシステムのモニター用セットアップを行います。

1. 「スタート」メニューから (Windows の場合のみ)、またはサーバー・インストール完了時に示された InfoSphere Optim Performance Manager Web コンソール URL (例: <http://hostname:55000/optimdatatools/console>) にブラウザでナビゲートして、InfoSphere Optim Performance Manager Web コンソールを開きます。

InfoSphere Optim Performance Manager サーバー・インストール時に指定または作成したユーザー ID とパスワードを入力します。

2. タスク・ランチャーから「モニター用データベースの追加および構成」をクリックして、InfoSphere Optim Performance Manager でモニターする DB2 データベースの接続を追加します。
3. 表示されるウィザードで、データベースへの接続を作成します。次に、そのデータベースをモニター用に構成します。
4. パフォーマンス・データを表示します。新たに追加したデータ・ソースに対して数件の照会を発行した後で、「開く」メニューを選択し、「正常性の要約」または未完了ダッシュボードの 1 つを選択して、パフォーマンス・データを表示します。

9 ステップ 9: オプション: オプション・コンポーネントをインストールして構成する



DB2 v9.7 以前のデータベースをモニターするには、レガシー DB2 Performance Expert Client または CIM サーバーをインストールし、構成します。

これらのオプション・コンポーネントをインストールして構成する方法については、次の URL を参照してください。

http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9PE5_5.3.1/com.ibm.datatools.perfmgmt.installconfig.doc/installing_configuring_components.html

詳細情報



開始方法に関する重要な情報へのリンクも含め、製品について詳しくは、以下に示す InfoSphere Optim Performance Manager 情報ロードマップを参照してください。

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27036508>

